## 経営体育成支援事業目標達成状況報告書(4年度目)

都道府県名 市町村名		地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体	
北海道	幕別町	幕別	平成29年度	平成31年度	幕別町	

I 地区の成果目標 (単位:経営体、%)

	70	世色の成果日保				(単位: 経呂伊、%)			
Æ [			目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)						
	項目		1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	目標年度 (4年度目)	達成状況 (%)		
		経営面積の拡大	0	0	1	1	0%		
	1)	住 呂 田 傾りが入	_	_	0	0			
必	<b>(2)</b>	) 農業の6次産業化	1	1	1	1	0%		
須	<b>(2)</b>		_	0	0	0	070		
目	<u></u>	農産物の高付加価値化	1	1	1	1	0%		
標	( <u>J</u>	辰座初 <sup>(2)</sup> 同刊加闸阻化	_	0	0	0			
		経営コストの縮減	1	1	1	1	0%		
	4	住呂コハトシが旧が	_	0	0	0	0 /0		
	(5)	耕作放棄地の解消							
日 日	6	農業経営の複合化							
	7	農業経営の法人化							
	8	雇用							

## Ⅱ 経営体の成果目標

山 稻	[呂体の成果日	1示									
No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)				4年度 目 達成状	実績を確認 した資料名		
				1年度目	2年度目	目標年度(3年度目)	目標年度(4年度目)		等		
		経営面積の拡大		自己所有 41.8ha 利用権設定 9.2ha 合 計 51.0ha	自己所有 41.8ha 利用権設定 9.2ha 合 計 51.0ha	自己所有 41.8ha 利用権設定 9.2ha 合 計 51.0ha	自己所有 41.8ha 利用権設定 13.2ha 合 計 55.0ha 小麦 4.0ha	自己所有 41.8ha 利用権設定 13.2ha 合 計 55.0ha 小麦 4.0ha	0%	土地総括表 2年作付実 態調査	
					自己所有 41.8ha 利用権設定 9.2ha 合 計 51.0ha	自己所有 41.8ha 利用権設定 9.2ha 合 計 51.0ha	自己所有 41.8ha 利用権設定 9.2ha 合 計 51.0ha 小麦 31.0ha	自己所有 41.8ha 利用権設定 9.2ha 合 計 51.0ha 小麦 30.19ha			
	1	農業の6次産業化		契約先 1社 出荷数量 108,718kg	契約先 2社 出荷数量 120,000kg	契約先 2社 出荷数量 120,000kg	契約先 2社 出荷数量 135,000kg	契約先 2社 出荷数量 135,000kg	0%	出荷契約書	
		(小麦の契約栽培)			契約先 1社 出荷数量 137,477kg	契約先 1社 出荷数量 121,478kg	契約先 1社 出荷数量 147,150kg	契約先 1社 出荷数量 138,335kg			
		<b>₹</b> . <b>†</b> *	販売価格(円/10a)								
		参考 (任意)		(円/10a)							
		(下心)	経営コスト	(円/10a)							
	2	農産物の高付加価値化 (玉ねぎの製品化率の向上) 【玉ねぎの出荷当たりの2L・L大 比率の向上】		40.9%	40.9%	43.0%	43.0%	43.0%	-1343%	出荷実績書	
					40.9%	29.2%	38.1%	12.7%			
		経営コストの縮減 (売上額当たりの経営コストの縮		76.5%	76.5%	75.0%	75.0%	75.0%	-4133%	第4期決算書	
		減)			76.5%	83.0%	100.7%	137.0%			
		参老	販売価格	(円/10a)							
			生産コスト	円/10a)						0	
		,	経営コスト(円/10a)						 		

## 皿 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

各目標未達成の要因については、

経営面積の拡大・・・条件のいい農地を見つけることができなかった。

農業の六次産業化・・・契約先と交渉している。令和4年度には達成できる見込である。

農産物の高付加価値化(玉ねぎの製品化率の向上)・・・病害虫の発生によるもの。

経営コストの縮減・・・販売管理費及び機械等への設備投資が嵩んだ。

となっており、いずれも目標未達成となったが、 町、農協、農業改良普及センター、農業共済組合、日甜等で構成する「ゆとりみらい21推進協議会」が発行する営農技術情報を経営体に配付し、作業期の周知、栽培技術向上、不要な施肥等を削減し各目標達成に努める。